

製品サポート期限 (EOL) が過ぎた後、 もしくは稼働 OS が EOL(End of Life/Support) を迎えた場合の弊社製品動作

製品サポート期限 (EOL) が過ぎた場合

サポート期限 (EOL) を過ぎても、製品の動作そのものには影響はなく、直ちに製品が動作しなくなることはありません。

ただし、サポート期限 (EOL) 終了後は、ご利用の製品におけるパターンファイルに対する動作の保障をさせていただきます事が出来なくなってしまいます。

これは、弊社配信サーバ内でのパターンファイル整合性検査から、サポート期限を迎えたバージョンが除外されるためとなります。

また、サポート期限終了後、いつパターンファイルが更新されなくなるかの事前のご案内をさせていただきます事が難しくなっております。

従いまして、製品のサポート期限を迎えます前に、サポート対象のバージョンへのバージョンアップを実施して頂きますよう、御願い致します。

稼働 OS が End of Life/Support が過ぎた場合

弊社エンドポイントセキュリティをインストールしている端末において、稼働 OS が EOL(End of Life/Support)を迎えた場合、Supported platforms から除外され動作保証対象外となります。延長保証等は個別に案内させていただいております。

リリースノート

<https://community.withsecure.com/discussion/125233/see-all-changelog-links>

"動作保証対象外"の定義

リリースノート記載の"Supported platforms"対象外となる事を意味します。弊社製品は自動配信チャンネルを通じ、バージョンアップデータを受け取り、自動アップデートを行います。

Supported platforms とはそれらのアップデートに対し、事前検証を行っている OS となります。つまり Microsoft や Unix ディストリビューションにおける EOL を過ぎた OS 上では、今後の弊社製品アップデートが適用されなくなったり、適用後に異常が発生したりする可能性がございます。"OS の EOL が過ぎたと同時に弊社製品機能(スキャン/定義ファイル更新)が停止する"という事態はございませんが、それ以降のアップデートを経て、徐々に機能が失われて行く事態が考えられます。

なお、弊社製品のバージョンアップデートとは、製品全体のバージョンアップ(チャンネルアップデート)だけではなく、システムファイル修正等のマイナーアップデートも含まれます。その為、人為的にアップデートを避ける事はできません。

パターンファイルの提供について

弊社のパターンファイル提供は(ウイルス定義情報提供)は、製品バージョンや EOL を問わずに行われております。その為、OS の EOL 以降もパターンファイルをダウンロードする事は可能です。しかしながら、それらの製品が正常にパターンファイルを読み込みできるかどうか？という点については、保証させて頂いておりません。

延長サポートの有無について

弊社では各製品毎に延長サポートの有無について公表させて頂いておりません。お使いの製品については、f-secure 営業担当までご連絡ください。